

ひがたかんタイムズ



2013年 2月 15日発行 <第26号>

大師河原水防センター運営委員会 発行人：小泉 茂

■多摩川のふしき その4 ~海と出会う河口へ~

多摩川が調布取水堰を下り東横線の鉄橋をくぐると、今までよりさらにゆったりとした流れになります。水深もあり川底をうかがえる様子もありません。やがて第二京浜国道をくぐるあたりになると、くらしている生きものも海で暮らすような仲間たちになります。秋の釣りの対象となる「マハゼ」や大きくなると80cm以上にもなるスズキ。最近ではルアーフィッシングを楽しむ人の姿も見かけることもしばしばです。

さらに下り、六郷橋を過ぎると広い干潟が現れ出します。そこにはカニやゴカイやまたそれらをエサとして求めやってくる鳥たちなど様々な生きものたちの暮らしがあります。特に春や秋の渡りの季節には、シギやチドリの仲間が長い足を自在にあやつって上手に干潟の泥の中からカニやゴカイを捕らえる様子を身近に見ることができます。時には広い干潟をたくさんの鳥たちの群れがおおうほど集まることも。またこのあたりには海の満潮や干潮が川の中でも大きく影響し、特に大潮の日は（満月や新月によって干満の差が大きくなる時）干潮と満潮で干潟が現れたり隠れたりして、川の中の様子が一日の中で一変します。

やがて左に羽田空港を迎え、大都会の海・東京湾と出会った多摩川は、遠い奥多摩の山の水源から始まった138キロメートルの長い長い旅を終えるのです。



多摩川河口から5Km付近（上）と
多摩川河口から2Km付近（下）



ひがた 干潟のゆかいな

仲間たち

第26回

文・写真 佐川麻理子



多摩川河口に生息するアサクサノリ

アサクサノリ

かつて江戸の町の人々から親しまれた「海苔」。今でもおにぎりやノリ巻き、また佃煮としてたくさんのファンがいますが、今私達が食べているのは「スサビノリ」と呼ばれているものです。

本来東京湾で採れたノリは主に「アサクサノリ」でした。ところが近年の開発や環境汚染によって、一時は姿を消したかと思われていました。

実は2006年、このアサクサノリが多摩川河口で再び発見されたのです。そして今では保護を重要とする絶滅を危惧する種とされています。ノリは冬が成長の季節。潮が引いた干潟の上に、付着したアシから離れてちゃっかり漂っていることも。色は濃い茶色。ワカメを薄く小さく丸くしたような形で見落としてしまいそうですが、じっくり干潟を観察してみて下さい。もしかしたら歴史的発見に出会えるかも！

【連載】大師河原歴史抄

文 渡辺修策

六、多摩川治水と鈴木喜三郎（その二）
大正一二年九月一日関東大震災発生。戒厳令下、龜戸事件、甘粕事件の発生と社会混乱した中、一〇月に検事総長に就任した喜三郎は、よく一三年一月貴族院議員主体の清浦内閣に司法大臣として初入閣、同五月平沼騏一郎主宰右翼団体「国本社」発足に理事として参画、六月内閣総辞職で司法大臣辞任後一四年四月立憲政友会に入党し政界に転身した。昭和二年四月政友会田中義一内閣に内務大臣として入閣、三年一月の第一回普通選挙の際、野党民政党的主張する議会中心主義を「我が國体と相容れぬ」という政党政治を自己否定する声明を発表し政界に衝撃を与えた政友会の事実上の選挙総指揮者として露骨な選挙干渉を行い、選挙運動の取締りでは与党の違反は放置し、野党候補の違反を集中的に摘発したり、弁士の演説中止、演説会の中止解散等激しい言論圧迫を行った。選挙には民政党より一名多い僅差で勝利はしたもの、同三月司法当局と協力し千六百名に及ぶ共産主義活動家の一斉検挙を行い（3・15事件）治安維持法改正案提出等思想取締りを強化した。同五月議会で露骨な選挙干渉等への追求が高まり内相を辞任したが、喜三郎は政友会内で反動強権体質を代表する新興勢力として森格、鳩山一郎等と共に最大派閥を形成し会内の主導権を握り、昭和四年田中義一の多い床次竹二郎と熾烈な総裁争いを演じ、党分裂回避のため長老大養毅が総裁として抜き出された。

六年一二月大養内閣成立と共に司法相に返り咲き翌年三月には内相に転じた。この間、

一二年間勤めた貴族院議員を辞し七年二月神奈川二区から衆議院議員に当選。同五月5・15事件で大養が暗殺されると、第七代政友会総裁に就任したが陸軍の強い政党内閣反対論のため首相への途を阻止された。その後政友会総裁として農村救済問題、リットン報告書反対活動、天皇機関説排撃等に活躍したが、次第に健康を損ね一一年二月の選挙では政友会総裁の身でありながら、多摩川河川改修工事に絡み地元大師河原住民の不興を買ひ落選した。再び貴族院議員に戻ったが一二年総裁辞意を表明、代行委員四名を指名、党務をゆだねたが一四年五月任期満了により総裁を辞任した。喜三郎が政界に在籍した大正一二年から昭和一四年は社会、政治経済の混亂期であり軍国化が進み昭和の大戦へと進んで行く激動の時代であった。政友会総裁は初代伊藤博文、三代原敬、四代高橋是清、六代大養毅が暗殺され、五代田中義一は任期中狭心症で急死するという受難激務の職であるが、その中で晩年動脈硬化で病床に伏したが七年間総裁任期を全うし得たのは、天性の資質なのかあるいは司法界、政界を通じて培われたものであろうか。次回に続く。（参考資料は最終回に提示）

☆大師河原干潟館イベント情

だいし水辺の楽校

◆25年2月16日（土）

☆観察会と野草料理教室

10時～12時

会費：200円（小学生以上）

◆25年3月23日（土）

☆春の草つみと野草天ぷら

10時～12時

☆風作り 13時～15時

会費：各200円、一日400円

◆25年4月27日（土）

☆干潟観察（殿町干潟ほか）

※詳細は後日お知らせします。

◎問合せ・申込先

大師河原干潟館（水・土・日・祝） 044-287-7882

※4月から木曜日も開館します。

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課 044-200-2268

だいし水辺の楽校 www.tamariver.info/daishi

担当：佐川 090-2492-5480

スタッフ一同お待ち
しています！



大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00

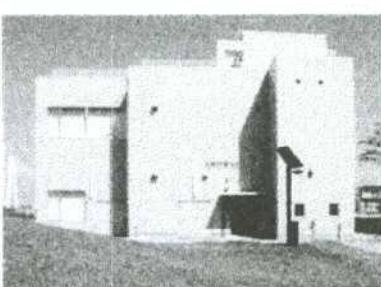
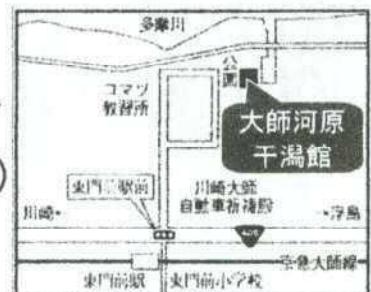
◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。

入館無料

生きものカードプレゼント中！



◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館

Tel : 044-287-7882 Fax : 044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-7703 Email : 53tamasu@city.kawasaki.jp

<http://www.tamariver.info/higatakan/>

ひがたかんタイムズ



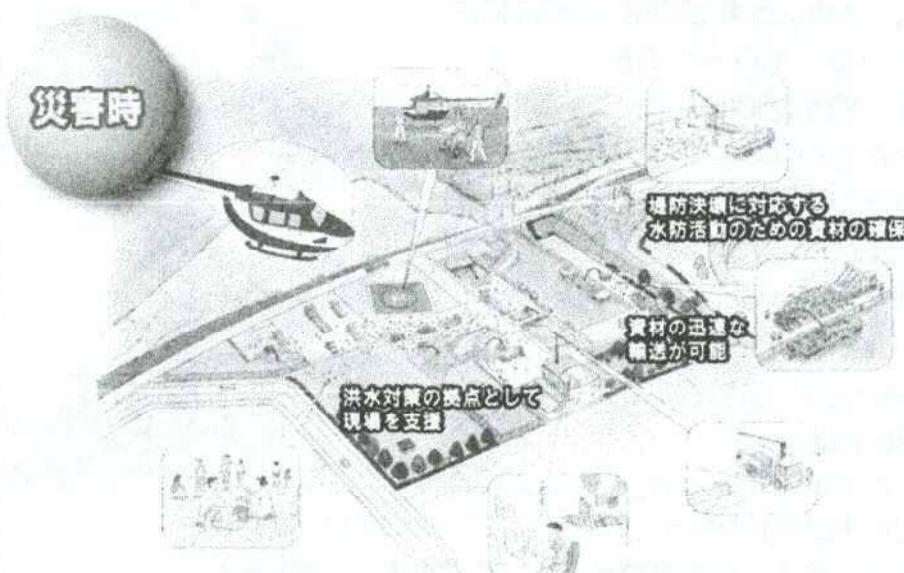
2013年 4月 11日発行 <第27号>

大師河原水防センター運営委員会 発行人：小泉 茂

■大師河原水防センターと防災

「大師河原河川防災ステーション」は、洪水による被害を防ぐための水防活動や、洪水・地震による災害復旧時の最前線基地となり、ヘリポート、水防活動スペース、復旧用備蓄資材などを備えた多摩川で初めての施設として、平成19年12月に国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所と川崎市が共同で建設しました。

昨年7月に国と川崎市等とで行われた「東扇島地区基幹的広域防災拠点緊急物資輸送訓練」では、地域防災の拠点である大師河原河川防災ステーションのヘリポートに国交省と川崎市消防航空隊のヘリコプターによる人員や緊急物資航空輸送が行われました。首都直下地震発災時に備えた訓練です。その他に地元の消防団員の地道な訓練にも活用されています。



「大師河原水防センター」はこの一画にあり、平常時はその一部を多摩川の防災、環境、歴史、文化に関する学習などの情報発信拠点「大師河原干潟館」としても活用し、みなさんに愛され、親しまれる施設を目指しています。（但し避難所ではありませんのでご理解下さい）

ひがた
干潟のゆかいな
仲間たち
第27回
文・写真 佐川麻理子



アオアシシギ

多摩川河口干潟にはシギやチドリの仲間がたくさんやってきますが、その中でも長い足のシギのひとつにアオアシシギがあります。

「ピューピュー」という澄んだ声は外国では楽器のフルートに例えられることも。

たいていは群れで行動していますが、ここ多摩川河口では時にぽつんと一羽でいる個体を見かけます。しかし一羽が不安なのか、ちゃっかりセイタカシギの仲間に混ざっているときが多く、自分がアオアシシギであることを忘れてしまっているような様子です。

つばさを閉じた体長は35cmほど。長い足で干潟の中を歩き回るばかりではなく、潮が満ちたときなどテトラポットや岸に上がっていることもあります。その姿をすぐ身近に見ることができます。

文 渡辺修策

七、多摩川治水と鈴木喜三郎（その三）
 今まで喜三郎の経歴をみてきたが、彼は司法行政の専門家であり内務大臣在任中も関心は国家の治安維持、國体護持等にあったように思える。慶應三年に大師河原に生れ明治、大正の多摩川の洪水は身近に体験し、地元出身者として多摩川の治水問題にはそれなりの関心を持っていたであろうが、昭和一二年の選挙に閑僚経験者、政友会總裁の身でありながら落選した一因は、多摩川治水工事で下流域河幅拡幅のため東京府側よりも神奈川県側の沿岸畠地が多く河川敷に取り込まれることになり、地元住民の支持を失ったことにあると伝えられているが、当時の河川行政の所管は内務大臣にあつたとは言え、彼がこの治水工事にどの程度関与していたのであろうか。

喜三郎の内務大臣在任期間は①昭和二年四月から三年五月②昭和七年三月から一年二月の二度である。一方この治水工事は從来両岸府県が個別に行つて来たものを、国直轄の改修工事として左岸砧村宇奈根、右岸高津村久地から海に至る一二km間を、大正七年度起工を目指し内務省土木局にて計画策定が進められた多摩川としては初の改修工事である。

必要となり増額し、工期を昭和二年度まで延長されたが、大正一二年の関東大震災により予算を減額され、工期も昭和八年度まで長されて都合一六力年に及ぶ継続事業となつた。次回に続く。（参考資料は最終回に提示）

★
大師河原干潟館イベント情報
 *4月から水・木・土・日・祝祭日開館しています。

平成25年度「だいし水辺の楽校」開催予定

◆25年4月27日(土) 平成25年度開校式同時開催

春の干潟観察会と野草つみ 10~13時

※干潟や河原で遊びます。摘んだ野草は天ぷらで！

会費：幼児100円、小学生・中学生200円、大人300円

持ち物：歩きやすい靴や長ぐつ、タオル、飲み物、帽子、

マイカップ・マイ箸、あれば網（カニや魚取り用）

※小学4年生以下は保護者同伴。雨天は館内で実施。

◆5月26日(日) 10~13時 干潟観察会

3校(だいし・かわさき・とどろき)合同水辺の楽校

◆6月~H26.3月までの予定

6/22(土)、7/20(土)、8/24(土)、9/28(土)、10/19(土)、

11/16(土)、12/21(土)、H26.1/25(土)、2/15(土)、3/22(土)

※詳細は、館内にてお知らせします。ご参加をお待ちしています。

◎問合せ・申込先

大師河原干潟館(水・木・土・日・祝) ☎044-287-7882

川崎市建設緑政局多摩川施策推進課 ☎044-200-2268

だいし水辺の楽校 www.tamariver.info/daishi

担当:佐川 090-2492-5480



大師河原干潟館(大師河原水防センター)

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

◆開館日／水・木・土・日・祝日 10:00 ~ 16:00

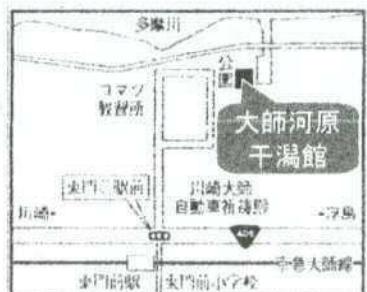
◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分

〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。

入館無料

生きものカードプレゼント中！



◆お問い合わせ(水・木・土・日・祝)／大師河原干潟館

Tel : 044-287-7882

◆お問い合わせ(平日)／川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課

Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-7703 Email : 53tamasu@city.kawasaki.jp

<http://www.tamariver.info/higatakan/>